



試験紹介

CEマーキング取得事例

多摩テクノプラザでのEMC試験プラン

多摩テクノプラザではCEマーキング取得を目指すお客さまのために、EMC指令を満たすための試験設備を揃えています。

まずは電話でご相談

CEマーキング取得のためのEMC試験を希望されるお客さまは、まず多摩テクノプラザにお電話ください。実施する試験規格そのものが不明な場合は、専門のアドバイザーが対応します。

試験の打ち合わせ

試験規格が決まりましたら、試験計画を立てるために多摩テクノプラザの연구원と打ち合わせを行います。その際に供試装置の情報について、主に以下のことを確認しています。

- ①試験対象(CEマーキング)の範囲
- ②試験時の供試装置の動作状態
- ③試験ポートの数、ケーブル類の長さ
- ④誤動作の確認方法

これらの情報と試験規格によって試験条件を決定し、試験時間の見積り、日程調整を行います。特にイミュニティ試験では、上記②、③の条件によって費やす時間が大きく異なります。例えば、伝導イミュニティ試験は、今回適用した規格では3m以上の電源および通信ケーブルに対して行いますが、1ポートの試験に約1時間かかります。つまり試験対象ポートの数によって所要時間が大きく変わるため、付属で接続するケーブルの長さの仕様を事前に定めておくと、試験条件の決定を速やかに行うことができます。

EMC試験事例

試験事例としてご紹介するのは工業用のガス発生装置(図1)です。動作モードが1つ、試験ポートが1つと、試験条件の少ない供試装置ですが、全体のEMC試験には3日ほど要しました。また、試験の際に供試装置が破壊される可能性がある静電気試験やサージイミュニティ試験を最後に行うことをおすすめしています。今回の事例でも、最終日にこれらの試験を行いました(表1)。

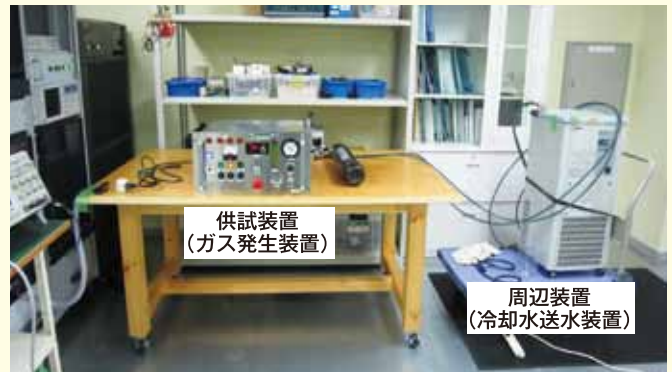


図1 試験構成((株)PARAMの試験風景)

表1 事例の試験プラン*

試験項目		所用時間
シールドルーム		
1 日目	・EFT/B試験	1時間
	・伝導イミュニティ試験	1時間
	・電源周波数磁界イミュニティ試験	1時間
	・電圧ディップ・短時間停電試験	1時間
電波暗室		
2 日目	・放射エミッション測定	2時間
	・雑音端子電圧測定	1時間
	・放射イミュニティ試験	4時間
シールドルーム		
3 日目	・静電気試験	1時間
	・サージイミュニティ試験	3時間

*試験項目、所要時間は試験規格および供試装置によって異なるため、事前にご確認ください。

【開発元】株式会社PARAM (<http://www.param.co.jp>)

CEマーキング取得のご相談に当たって

CEマーキング取得には、EMC指令に加えて低電圧指令や機械指令への対応や技術文書の作成などが必要です。

都産技研では、それらのご相談にも対応しています。お気軽にご連絡ください。

電子・機械グループ <多摩テクノプラザ>
大橋 弘幸 TEL 042-500-1263
E-mail: ohashi.hiroyuki@iri-tokyo.jp

●『TIRI NEWS 11月号(2012)』誤植のお詫びと訂正について
P.10に誤植がございました。お詫びして下記の通り訂正いたします。
図「ICP発光分光分析装置における測定可能元素」内 1列3行目
(誤)Ne→(正)Na